現代のプリンセスはもう王子様を待ってはいけないのか

高校２年

はじめに

Ⅰ ディズニープリンセスとはなにか

１ ディズニープリンセスの定義と特徴

２ ディズニープリンセスの変遷

３ 先行研究の分析

Ⅱ 女子中高生が感じているディズニープリンセスと女性像 １

アンケートの実施

２ アンケートの結果から分かること

Ⅲ ディズニープリンセスと時代の関わり

１ 『白雪姫』はなぜ生まれたのか

２ 『アラジン』はなぜ生まれたのか

３ 『メリダとおそろしの森』はなぜ生まれたのか お

わりに

はじめに

きっと誰もが一度は「ディズニープリンセス」を目にしたことがあるだろう。もしかした らディズニープリンセスになりたいと願ったこともあるかもしれない。人びとは「プリンセ ス」と聞いてどのようなプリンセスを想像するだろうか。

私が想像するプリンセスは、『白雪姫』や『シンデレラ』などのふわふわのドレスを着 て、素敵な歌声を持っている。そして、友達の動物や魔法使いがプリンセスの夢を叶える手 伝いをしたり、困難を救ったりするのを思い浮かべる。

しかし『モアナ』や『ラーヤ』など現代のプリンセス達は、妖精たちの手を借りて困難を 乗り越えている印象よりも自らの手と足を使い困難を乗り越え、夢を叶えていく自立した印 象のほうが強いかと思う。もちろんどちらのプリンセスの方が優れているなど優劣をつける わけではない。

戦争、経済、フェミニズム――時代の変化に伴い女性像のあり方、そしてディズニーのプ リンセス像も変化している。現代では「運命の人と結ばれたい」と願うプリンセスより「仲 間を救いたい」「自分の力を証明したい」「家族を守りたい」と願うプリンセスが作られる 傾向にある。

若桑みどりは『お姫様とジェンダー――アニメで学ぶ男と女のジェンダー学入門』で、シ ンデレラについて「つまりシンデレラの物語とは、女の子は自分で幸福を掴み取る努力なぞ 一切しなくとも、人の言いつけをきいて「すなおに」してさえいれば（そしてキレイでさえ あれば）、誰

かが、つまりは白馬に乗った王子様が幸せをもたらしてくれる、という物語な のだ。」（若桑 2003、p.32）という見方をしている。このように前者のプリンセスは書
籍や論文において批判されがちである。
　専門家たちや社会は女性に「自立」を期待し、白雪姫やシンデレラに憧れをもたせること さえ辞めさせようとする。しかし、いわゆる「受け身的」なプリンセスに憧れを抱く人も 「自立的」なプリンセスに憧れる人もどちらの考え方も尊重されるべきである。

　この論文は「受け身や自立的なプリンセスの枠というのは現代人の幻想なのではないか」 という仮説に基づきながらディズニープリンセスを通して女性像について論じるものであ る。

Ⅰディズニープリンセスとはなにか

1 ディズニープリンセスの定義と特徴

本論で取り上げる 13 人のプリンセスの名前、人種、公開年、誕生時の身分と恋人の身分を 表にまとめた。

名前（人種）	作品名（米国公開年）	誕生時の身分	身分
白雪姫（白人）	白雪姫（1937 年）	王女	王子
シンデレラ（白人）	シンデレラ（1950 年）	非王女	王子
オーロラ（白人）	眠れる森の美女（1959 年）	王女	王子
アリエル（白人）	リトル・マーメイド（1989 年）	王女	王子
ベル（白人）	美女と野獣（1991 年）	非王女	王子
ジャスミン（有色人種）	アラジン（1992 年）	王女	非王子
ポカホンタス（有色人種タス		首長の娘	非王子
ムーラン（有色人種）	ムーラン（1998 年）	非王女	非王子
ティアナ（有色人種）	プリンセスと魔法のキス（2009 年）	非王女	王子

ラプンツェル（白人）	塔の上のラプンツェル（2010 年）	王女	非王子
メリダ（白人）	メリダとおそろしの森（2012 年）	王女	恋愛要素 なし
モアナ（有色人種）	モアナと伝説の海（2016 年）	首長の娘	恋愛要素 なし
ラーヤ（有色人種）	ラーヤと龍の王国（2021 年）	首長の娘	恋愛要素 なし

ディズニーの公式サイトによるとディズニープリンセスとして定義されているのは 「白雪姫」「シンデレラ」「オーロラ姫」「アリエル」「ベル」「ジャスミン」「ラプン ツェル」「モアナ」「ポカホンタス」「ムーラン」「ティアナ」「メリダ」「ラーヤ」の十 三人である。「生まれが王女であること」など具体的な基準があるわけではなく「アナ」や 「エルサ」はディズニーの公式のプリンセスには含まれていない。生まれに関係なく誰でも プリンセスになれるともいえる。

また白人のプリンセスは 7 人、黒人、アジア系などの有色人種のプリンセスは 6 人で半分ずつくらいであることがわかる。1990 年代から新たに制作された映画に注目すると、有色人種のプリンセスは六人で、白人のプリンセスはわずか二人である。1990 年代以降に制作 された映画では有色人種のプリンセスの方が多いことが分かる。

研究のためディズニープリンセス 13 人の映画を見たところ、私はディズニープリンセス にはある共通点があると考えた。「決して諦めずに夢を信じ続けること」という共通点だ。 白雪姫など初期の作品は、現代社会が女性に期待する、「自立的でなんでも自分でやる女 性像」ではないかもしれない。ディズニーは 1937 年の「受動的」と言われる白雪姫から 2021 年の「自立的」と言われるラーヤまで様々なプリンセス像を生み出してきた。しかし ディズニープリンセスのモットーである「決して諦めずに夢を信じ続けること」は全作を通 して変わっていない。ディズニーがこのモットーを変えなかったのは「どんな逆境でも諦め ずに信じ続ければ夢は叶う」という自分の信念を曲げずに生きるディズニープリンセスの姿 がプリンセスを見た人々の憧れになり、世界中で多くの人に愛される理由になったからであ る。

2 ディズニープリンセスの変遷

1937 年公開の「白雪姫」を皮切りにこれまで多くのプリンセスが誕生している。男女の 役割的分業が背景に見られる「受け身的」な「白雪姫」「シンデレラ」（1950 年）と 「オーロラ」（1959 年）、物事に対して反抗心を抱いていたり、聡明で初期の三作品に比 べると「主体的」な「アリエル」（1989 年）と「ベル」（1991 年）、多様な人種を持つ新 しいプリンセスの「ジャスミン」（1992 年）「ポカホンタス」（1995 年）「ムーラン」（ 1998 年）「ティアナ」（2009 年）、活発で「現代的」な女性の価値観を持つ「ラプンツェ ル」（2010 年）「メリダ」（2012 年）、現代社会が女性に期待する、「自立的」で意思が あり行動力のある女性像をそのまま具現化した「モアナ」（2016 年）、「ラーヤ」（2021 年）。

ディズニーは時代に合わせてプリンセス像を変化させてきたが、ディズニープリンセス像 の変遷は 5 つに分けることができる。

1 つ目の括りは「白雪姫」「シンデレラ」「オーロラ」までの三作だ。この三作品の共通 点は他のプリンセスに比べて「受け身的」な演出が多いことだ。白雪姫の物語は継母の女王 に蔑まれ掃除をしながら白雪姫が歌うシーンから始まる。彼女の声の美しさに惹かれた王子 は直接白雪姫に会いに行き愛の歌を直接届ける。以下は白雪姫が冒頭で歌う「I'm wishing」 （私の願い）の日本語版の一部である。

白雪姫：
誰か（誰か）愛してよ
来てよ（来てよ）今（今）
胸が（胸が）震えるわ
ここへ（ここへ）来て（来て）

（歌声）

誰か（誰か）愛してよ
来てよ（来てよ）今

「誰か愛してよ 来てよ 今」と運命の人との出会いを待つ白雪姫の姿が描かれている。ま た英語の歌詞では
”I'm wishing for the one I love to find me today.”
（私は願っている、私を愛してくれる人が現れることを）

と歌っている。白雪姫のこの歌は「今は苦しくてもいつか王子様（運命の人）が迎えに来て くれる」という王道のプリンセスストーリーを象徴するような歌だ。 二作目の「シンデレラ」は自ら舞踏会に行くことを望み、実際に舞踏会に行く「主体的」 な面も描かれていたが、最後は王子様がガラスの靴の持ち主であるシンデレラを探し迎えに 来たことで物語はハッピーエンドを迎えた。

三作目の「オーロラ」はストーリーの構造上物語の中ではほぼ眠っているので「受け身的」と批判されるのも仕方ないとも言えるが、この物語も王子様が迎えに来ることでハッ ピーエンドを迎えている。

この三作のプリンセスはディズニープリンセスの「夢は信じていれば叶う」の基礎を作っ たと言える。「受け身的」だろうが「自立的」であろうが、夢を叶えるためには夢への信念 はなくてはならないものである。現代の「自立的なプリンセス」の基準が合わないだけで彼 女たちはそれぞれの逆境から抜け出そうと努力しているのである。その手段が人に尽くすこ とだったり歌だったりしただけでただ漫然と生きていたのではない。

2 つ目の括りは「アリエル」「ベル」「ジャスミン」だ。この三作品は一括りめの三作か らプリンセス像が大きく変化している。アリエルは陸に住む王子にもう一度会うために自分 の声と引き換えにアースラに足をもらった。しかしアースラはアリエルと王子と結ばれるの を阻止するため人間に化けて王子と船の上で結婚式をあげようとする。アリエルは二人の結 婚を止めるために船まで自力で泳いだ。前の三作品と比べるとプリンセスがとても主体的に なったことが分かる。

またアリエルはプリンセスの象徴とも言っていい美しい声なしに自分の夢を叶えた。オー ロ

ラ姫が誕生した際に妖精達からプレゼントされた贈り物のなかには「美しい声」もあっ た。これまでのプリンセスに絶対的に必要だった「美しい容姿」、そして「美しい歌声」の うち「美しい歌声」なしで夢を叶えたアリエルはこれまでのディズニープリンセスの固定観 念を覆した。

ベルはこれまでのプリンセス像をまた大きく変化させた。これまでのプリンセスが一目惚 れし恋に落ち結ばれてきたのとは違い、ベルが恋に落ちたのは野獣に姿を変えられた王子 だった。二人の第一印象は最悪だったが、時間をかけてお互いを知るうちに二人は惹かれ 合っていく。ベルはディズニープリンセスで初めて相手の内面に惚れ込み一目惚れをしな かったプリンセスになった。

ジャスミンもディズニープリンセスを語るうえでの大きな転換点となった。それまでのプ リンセスが白人だけだったのに対し白人以外の人種のプリンセスが誕生したことで、新たな プリンセス像が確立されたとも言える。またジャスミンは初めて男性との身分が逆転してい たプリンセスである。貧しい暮らしを送っていたアラジンがプリンセスのジャスミンに恋に 落ちる物語だ。

この三作を通して「受け身的」だったプリンセス像から「主体的」で男性を守ることもで きるプリンセス像が新たに生まれたのである。

3 つ目の括りは「ポカホンタス」「ムーラン」「ティアナ」だ。ジャスミンのときと比べ て、より多様な人種のプリンセスが生まれた。

ポカホンタスは映画内で好きな人と結ばれる描写はないものの、好きな人のために命を懸 けて人々の対立を収めた。

ムーランは父の代わりに男性のふりをして自ら戦場へ向かう今までになく力強いプリンセ スだった。しかしムーランも「結婚」という終わり方ではないものの恋に落ちた男性が登場 し映画は終わった。

ティアナは初めて自分でお金を稼いだプリンセスだ。夢である自分のレストランを開くた めにティアナは働いている。しかしこの映画でもやはり恋人の存在は欠かせないものになっ ており、物語の最後にティアナは王子と結婚した。そして自分のレストランを開くという夢 も叶える。

この三作品のプリンセスはこれまでで一番「自立的」で自分の夢や信念を強く持っている が、運命の人(恋人)の存在は欠かせないものとなっている。

4 つ目の括りは「ラプンツェル」である。ラプンツェルはこれまでの王道のプリンセスス トーリーと現代的な自立したプリンセスの 2 つを合わせたプリンセスだ。ラプンツェルの髪 には傷を癒す特別な力がある。ラプンツェルは初めて自らが魔法の力を持っているプリンセ スだった。これまでのディズニープリンセスが魔法によって困難を救ってもらったり能力を もらったりしていたのに対し、ラプンツェルは始めはその特別な髪のために誘拐され塔に監 禁されるなど魔法に翻弄されていたが、最後にはポジティブな力に変えたプリンセスにな る。そして愛する人と結ばれて物語は幕を閉じる。王道のプリンセスストーリーの要素もあ りながら、現代的な自ら夢への道を切り開くような力強さを持ち合わせている。

5 つ目の括りは「メリダ」「モアナ」「ラーヤ」である。この 3 人のプリンセスが現代社 会が女性に期待する女性像に 1 番近い。

メリダを境にディズニープリンセスはまた大きく変化した。大きく変化した点は２つあ る。第一に結婚の価値観である。ジャスミンも結婚はしたくないと言っていたが、愛する人 を見つけ物語の最後には結婚した。しかしメリダは「結婚」という伝統を拒んでから物語の 最後まで結婚はしなかった。最初はメリダに結婚を勧めていた母親も物語の終盤で「結婚し ない」というメリダの選択に理解を示した。

第二にこの物語のキーワードが「家族の絆」であるという点である。メリダは自らが起こ した過ちを正すために「結婚」という伝統を破り、「家族の絆」を手に入れた。 モアナでも恋愛要素はなかった。マウイという男性のキャラクターが登場するが、恋人で はなくモアナの仲間

として共に家族の住む島と海を守るため旅をする。 2021 年に公開されたばかりのプリンセス「ラーヤ」でも恋愛要素はない。この作品でも 恋人という存在の男性はおらず、男性は旅を共にする仲間として登場する。ラーヤもまたモ アナと同じように家族を救うために旅に出た。この物語でキーワードとなるのは「信じるこ と」である。信じることで悪に立ち向かい家族を救うことができた。 この三作はすべて「家族」についての物語である。これまでのプリンセスストーリーに欠 かせなかった「恋人」の存在もこの三作では無くなっている。自ら冒険に出る行動力と自分 で危機を乗り越えていく力を持っているプリンセス像は、現代社会が期待する「自立的」な 女性像に最も近いだろう。しかしながら最新作の「ラーヤと龍の王国」で「信じること」が 大きなキーワードになっていることから、やはりディズニープリンセスにとって「信じるこ と」は大切であることが分かる。

3 先行研究の分析

ディズニープリンセスの女性像に関する先行研究は初期のプリンセスの白雪姫、シンデレラ、オーロラなどに批判的に論じているものが多い。

若桑みどりは『お姫様とジェンダー -アニメで学ぶ男と女のジェンダー学入門』（筑摩書 房 2003 年）で初期の 3 人のプリンセスから読み取れるジェンダー観について論じており次の ように批判的な意見も多く見られる。「プリンセスは女の子に他力本願で受動的な人生を教 えてくれる最高の教師である。」（若桑、2003:p.46）

竹内かなえは「ディズニープリンセスと多様性」（2017 年）でシンデレラについて「自 由恋愛を楽しみながらも受動的で保守的という理想の女性像をウォルトは映画を通して伝え ようとしていた。」（竹内 2017:p.92）と述べている。

また李修京と高橋理美は「ディズニー映画のプリンセス物語に関する考察」（2011 年） で初期のプリンセスについて「鏡をひっきりなしに見ながら若さと美貌を保ち、老化への時 間を止めたいと願う女性たち、外界を排除し社会との関わりも持たず、知識を得ることを放 棄し、相手が現れるまで美しさに熱中し待っている女性、彼女たちは眠っていると言える。」（李 高橋、2011:p.103）と述べている。

以上のようにディズニープリンセスの初期のプリンセスに対して先行研究では「受け身的」と批判的な立場を取るものが多いことが分かる。

Ⅱ 女子中高生が感じているディズニープリンセスと女性像

１ アンケートの実施

2023 年 12 月 神田女学園在籍の女子中高生 142 人を対象にディズニープリンセスと女性像 についてどう感じているのかアンケートを取った。

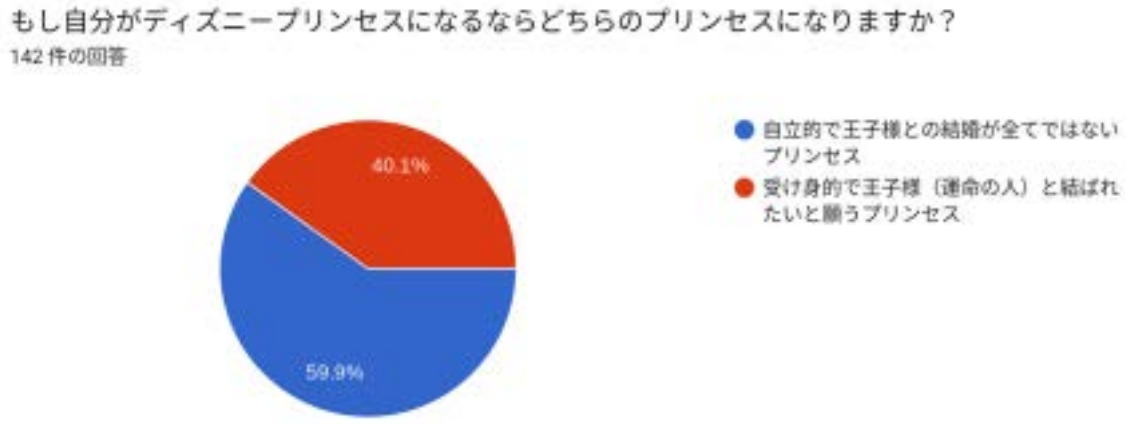
質問内容
①もしディズニープリンセスになるならどちらのプリンセスになりたいか。 選択肢 1 自立的で王子様との結婚が全てではないプリンセス
選択肢 2 受け身的で王子様（運命の人）と結ばれたいと思うプリンセス

②受け身的なプリンセスは時代遅れだと感じたことはありますか。
選択肢 1 ある

選択肢 2 ない

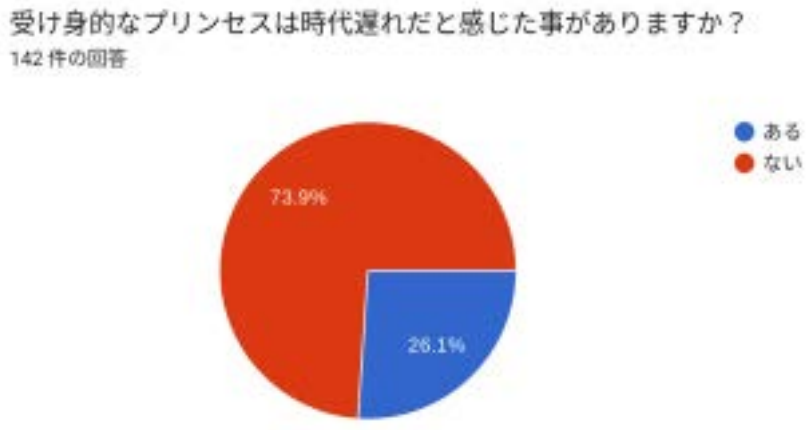
③自立や、意思を強く持つように社会から促されたり励まされたりすることに対して疲れを 感じますか。
選択肢 1 はい
選択肢 2 いいえ

結果は以下のようになった。
質問①

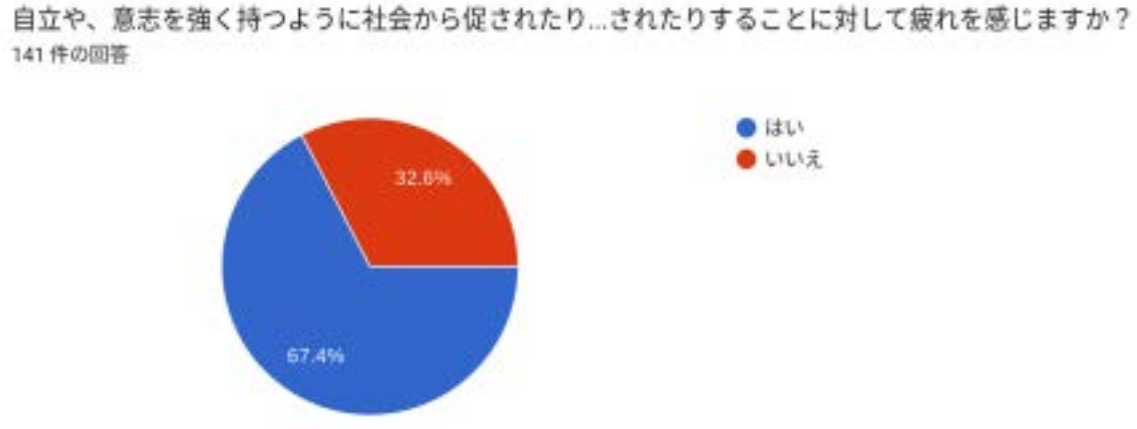


・自立的で王子様との結婚が全てではないプリンセスになりたいと思う人が 59.9%で半数以 上を占めた。
・しかし 40.1%の人が受け身的で王子様（運命の人）と結ばれたいと願うプリンセスになり たいと思っていることが分かった。

質問②



・受け身的なプリンセスは時代遅れだと感じたことがない人が 73.9%で全体の四分の三に近 いことが分かった。
・時代遅れだと感じたことがある人が 26.1%で、一定数いることが分かった。
質問③



・67.4%で比較的多くの女子学生が社会から自立や意思を強く持つように促されたり、励ま されることに対して「疲れる」と感じていることが分かった。
・32.6%で約三割の人はそのような疲れを感じていないことが分かった。

２ アンケートの結果から分かること

最近のディズニーが描くプリンセスになりたいと思う人が多かったことから、やはり時代 に伴い自立的な女性像に憧れる人が多いことが分かる。
しかし約四割ではあるが、昔ながらの王道のプリンセス（受け身的な女性像）に憧れる人 もいることから現代の女子中高生全員が自立的な女性になりたいわけではないことが分か る。
しかし、①の質問では自立的なプリンセスに憧れる人が多かったものの、②の質問では 「受け身的なプリンセスは時代遅れではないと思う」という選択肢のほうが「時代遅れだと 思う」という選択肢を上回った。先行研究の本や論文では受け身的なプリンセスに対して批 判的な意見が目立つが、自立的な女性像に憧れを持つ人が多い現代の女子中高生は、受け身 的な女性像を否定的には見ていないことが分かる。

以前は受け身、つまり女性は従順でお淑やかであるべきであり家で家庭を守るべきという 考え方が社会の主流だった。この考え方は現代において批判されており、女性の社会的地位 の低さが問題視されている。「女性は従順であるべき」という考え方が主流だった当時窮屈 に感じた女性もいたのではないか。しかし女性は自立すべきという考え方が最も正しいとさ れ、肯定されている現代でも窮屈に感じている女性がいるのではないか。

③の結果から分かるように、現代の女子中高生は自立的な女性になりたいと思う人のほう が受け身的な女性よりも多いことが分かる。しかし、自分が自立的な女性にはなりたいと思 いつつも社会から自立や意思を強く持つように促されすぎることには圧迫されているように 感じると分かる。
なりたい女性像とは自分が選ぶべきで社会や他人が女性に促したりするべきではない。現 代の女性像(自立的で自らの意思を持っている女性)が肯定され過ぎているために、本当はそ ういった風潮に疲れていることがあまり言えない実態があるのではないか。この風潮のため に女性は自分の望む女性像を選べていないのではないだろうか。社会や他人が「現代の女性 はこの姿でいるのがあるべき姿だ」など自立や意志を促す風潮を辞めるべきではないか。今 日「多様性」について様々な議論がなされているが、社会が分けた「自立的」、「受け身 的」という枠を気にしなくなり、「自分が憧れる女性像はいかなる女性像であっても受け入 れられ

る」という考えが受け入れられてこそ真に多様的であると言えるのではないか。

これまでディズニープリンセスは時代の変遷に合わせ、「受け身的」と言われる運命の人 と幸せになるプリンセスから「自立的」と評価される、必ずしも恋に落ちる展開があるわけ ではないプリンセスまで、様々な女性像を作り出してきた。これらの女性像はその時代の社 会や世間が女性に求めているものとも言えるのではないか。

またプリンセス像が変わるということは時代の転換点ということではないか。以前は「受 け身的」なプリンセスが、現代では「自立的」な女性が描かれていると言われている。しか しアンケートから分かるように以前のような「受け身的」な女性像に憧れる女子中高生も一 定数いること、社会から自立や意思を求められていることに疲れていると感じていることか ら、これからは「受け身的」、「自立的」という枠を取り払った「それぞれが憧れる女性
像」が受け入れられてこそ真に多様な時代になるだろう。

Ⅲ ディズニープリンセスと時代の関わり

映画が公開されたときにあったアメリカ社会に影響を与えた出来事と映画の比較をしたら より当時求められた女性像を見ることができるのではないか、またなぜそのプリンセスが当 時生まれたか分かるのではないかと考えた。そこでここではディズニー初のプリンセスであ る白雪姫、ディズニー初の有色人種のプリンセスであるジャスミン、近年のディズニープリ ンセス像を作り上げたメリダの 3 人に注目して論じていく。

1 白雪姫はなぜ生まれたのか

白雪姫が公開された 1937 年のアメリカはどのような状況であったのか。主に 3 つの出来事が挙げられる。

第一にアメリカでは 1920 年に合衆国憲法修正第十九条が成立し、白人女性の参政権が認 められたことである。『WOMAN 女性たちの世界史大図鑑』によると、「戦争中に職場に 進出した女性たちは、自由に使える収入を手にして、自発的な購入選択ができる有力な消費 者層になった。掃除機や洗濯機の発明により、多くの女性が家事の時間を減らすことができ（1920 年代のアメリカの女性が家事にかけた時間は平均週 52～60 時間）、自由な時間が増 えた。」この出来事をきっかけにアメリカの女性たちはより社会に参加するようになる。ま たこの頃ココ・シャネルがきついコルセットの代わりにより実用的な服装を生み出した。こ のような女性の社会進出が始まった時代に白雪姫のような受け身的なプリンセスが生まれた ことに疑問を抱いた。

第二に世界恐慌が挙げられる。「1929 年 10 月 24 日、ニューヨークの株式取引所におい て、それまで上がり続けてきたアメリカ合衆国の株式相場が暴落した（「暗黒の木曜 日」）。［中略］アメリカは海外に投資していた賃金を引き上げ、輸入も縮小したため、影 響は各国に波及して世界恐慌となった。」（新世界史、山川出版社）経済企画庁の「昭和 57 年 年次世界経済報告」によると、この影響により 1930 年代の恐慌期における失業率(失 業者数)は、ピーク時アメリカで、1933 年 24.9%(1,283 万人)となったことが分かる。また当 時のアメリカでは女性労働者は雇用法で保護されていなかった。そのため、夫が働いている 既婚女性の一部は仕事をする資格が与えられていなかった上、働く女性が妊娠した場合、雇 い主は直ちに女性を解雇することができた。1920 年代のアメリカ人女性が自由と参政権を
勝ち取った開放的な時代とは打って変わり、女性が再び家に入るという全く性質の異なる時 代に

なった。白雪姫はそんな世界恐慌の影響がまだ残る時代に公開されたのである。 第三に世界的に平和の秩序が乱れていった時代であったということである。ドイツでは 1934 年にヒトラーが大統領と首相を兼ね、ナチ党のいう神聖ローマ帝国、ドイツ帝国に次 ぐ新しい帝国、「第三帝国」の総統として国家元首になった。その 5 年後、白雪姫公開の 2 年後には第二次世界大戦が開戦した。1920 年代の大量生産、大量消費に特徴づけられる豊 かな時代とは変わって、世界恐慌を皮切りに国内外を問わず暗い時代へとアメリカは突入す ることになった。

このような時代にウォルトディズニーはなぜ白雪姫を選び公開したのだろうか。ウォルト は グリーン夫妻の著書『魔法の仕掛け人 ウォルト・ディズニー』（p.161,L.14‐15）のな かで『白雪姫』について以下のように述べている。

「心優しい小人がいるだろ。悪役もいる。王子様もいれば、かわいい女の子もいる。ロマン スがあるんだ。だから、申し分のないストーリーだと考えた。」

このことから、ウォルトディズニーが作り出した白雪姫が受け身的だと評価されることも あるが、ただウォルトディズニーは受け身的なプリンセスを意図して描いたのではなく暗い 時代に明るく幸せなロマンスを描きたかったのではないか。白雪姫公開前の 1920 年代は女 性の社会的自由が以前より拡大した時代であった。そのため、当時の女性たちは受け身的な プリンセスに憧れたというより、暗い時代に好きな人に愛される明るくて幸せな物語に憧れ たといえる。

2 ジャスミンはなぜ生まれたのか

ディズニー初の有色人種のプリンセス、ジャスミンが公開された 1992 年、1990 年代のア メリカはどのような時代であったのだろうか。主に 3 つの出来事が挙げられる。 第一に冷戦とその終結である。「アラジン」が公開された 1992 年の数年前、1989 年ゴル バチョフとアメリカのブッシュ大統領はマルタ島で冷戦の終結を宣言した。同年 11 月、ベル リンの壁が開放された。1990 年には東ドイツは西ドイツに吸収され、統一ドイツが成立し た。冷戦中の西側（西ドイツ）と東側（東ドイツ）では戦後社会で女性が果たすべき社会的 役割について考え方が全く違っていた。アメリカ（西側）では戦後、男性の雇用を生み出す ために女性には家庭に戻ってもらう必要があった。そのため「アメリカン・ドリーム」とし て家をいつもきれいにし、家族のために料理をし、白い柵に囲まれた家で子供を育てるとい う完璧な主婦のイメージを売り込む宣伝が広まった。それに対しソ連（東側）では、戦争に よる人的損失が大きかったため女性を共産主義国の重要な労働者として描いた。しかしなが ら、両国が描いた理想的な女性像が完璧に実現したわけではなかった。アメリカでは女性の 社会進出が進み、平等を求める運動が進んだ。ソ連では男女間に賃金格差が残っていた上、 仕事は性別で分けられ女性は地位の低い職業に割り当てられた。

第二に第 3 波フェミニズムが起こったことである。1990 年代には全世界にインターネット が急速に広がり、フェミニストたちはこの新しい仮想空間の可能性を探り始めた。フェミニ ズムとは女性の社会・政治・法律上の権利を拡張し、女性の地位を高めようという主義のこ とである。『WOMAN 女性たちの世界史大図鑑』は、「1990 年代には大衆文化が変革と 積極的行動の手段となり、ジン（自費出版で少数部を配布する雑誌）文化が生まれ、フェミ ニストが芸術の世界に大規模に参入した。こうした新しい種類の行動の一例が、男性中心 だったパンク音楽シーンに対抗する形で、1991 年のアメリカ西海岸で始まったライオッ
ト・ガール・ムーブメントだ。このムーブメントに関係する初期のバンドの一つが、キャス リーン・ハンナ率いるビキニ・キルだ。」と述べている。ビキニ・キルは性的虐待や人種差
別、家父長制、女性のエンパワーメントなどの問題を歌詞にしてこのムーブメントの先頭に 立

った。
　第三に 1992 年 4 月 29 日、ロサンゼルス暴動が起こったことである。平凡社百科事典マイペディアによるとロサンゼルス暴動の概要については以下のとおりである。「1992 年 4 月 29 日にロサンゼルスのサウス・セントラル地区で起きた暴動。白人警官の停止 命令を無視し逃走したアフリカ系アメリカ人のロドニー・キングに対し、複数の白人警官が 殴る蹴るの暴行を加える事件が起こった。この白人警官は裁判にかけられたが、無罪の判決 がくだされ、これに憤激した貧困地区の住民が暴動を起こした。ただし、暴動の標的となっ たのは白人ではなく、同地区で商店などを営む富裕な韓国系住民であった。同地区でそれま でに蓄積された、富裕な韓国系住民に対するアフリカ系、ヒスパニック系住民の不満が、白 人による根深い人種差別事件をきっかけとして爆発した結果といえる。従来の人種差別に加 え、新旧移民間の軋轢、経済格差などが複雑に絡み合った現代アメリカの抱える問題を象徴 する事件。」
　この事件を機にアメリカ国内における人種差別問題の深刻さが再認識された。 また事件が起こる二年前の 1990 年 4 月 9 日の TIME 誌では「21 世紀にアメリカでは初めて人 種・民族グループが白人を上回るだろう。ー中略ー白人アメリカ人はマイノリティグループ になるだろう。（筆者翻訳）」と述べられており、このときすでにアメリカの人種の割合が 将来白人人口がマイノリティになるという意識が持たれていたことが分かる。

　フェミニズムがインターネットや芸術面に参入したことやアメリカ国内における人種差別 問題の深刻さが再認識されたことで、ジャスミンのような有色人種の法律や男性に意見を呈 するプリンセスが生まれ、「女性は宮殿に憧れ、男性はその宮殿に住んでいる」という構造 も逆転した。白雪姫の時とは違い、このような社会の流れを作品を作るディズニー側も感じ ていたのではないか。

３ メリダはなぜ生まれたのか

　『メリダとおそろしの森』が公開された 2012 年のアメリカの状況はどのようなものであったか。主に 2 つのことが挙げられる。
　第一に＃Me too 運動である。2006 年にタラナ・バークによって設立された。2017 年に＃Me too が急速に広まり、運動は活発になった。
　第二に＃BlackLivesMatter 運動の活発化である。この運動は 2020 年のジョージ・フロイド 氏の事件をきっかけに爆発的に広まったが、運動自体は 2012 年 2 月、トレイヴォン・マー ティンという黒人の高校生が夜、フードをかぶり飲み物とお菓子を買い帰宅中、自警団の男 性に不審者とみなされ射殺されたものの自警団の男性が不起訴になった事件をきっかけに 2013 年に創立されている。

　メリダは白人のプリンセスだが、物語の最後まで恋人を作らず結婚もしなかったことか ら、少なからず『アラジン』の時の第 3 波フェミニズムの流れに加えそれ以降の社会的な運 動も影響が感じられる。2010 年代は 1990 年代に引き続き社会正義への意識が高まった時代 であった。
おわりに

この研究で現代の人々が受け身的、自立的な枠を作り出してプリンセスに当てはめている だけで、そもそもそのような枠組みはないとわかった。いわゆる「受け身的」なプリンセス も「自立的」なプリンセスもどちらのプリンセスもこれほど長い間人々に愛されているの は、すべて

のディズニープリンセス映画の根底には「夢は信じていれば叶う」というモッ
トーがあったからである。ディズニープリンセス最新作の『ラーヤと龍の王国』では「信じ る
こと」がテーマだった。「決して諦めずに夢を信じ続ければ叶う」というのがディズニー プリン
セスのモットーであるなら、同じモットーを持つ初期のプリンセスたちも肯定されて いいのでは
ないか。またアンケートで現代の女子中高生は、社会から期待される「自立的」 な人でなければ
いけないことに疲れを感じている人が多いことが分かった。このことから真 に「平等な社会」を
望むのであればまず「受け身的」「自立的」の 2 つの枠をなくすべきで
ある。

このような枠が作られたのは現代社会が目指す「男女平等社会」が現状達成できていない ため
である。そのためあえてディズニープリンセスを 2 つの枠に分け、「自立的」とされる プリン
セスを高く評価し「受け身的」とされるプリンセスが時代遅れと批判しているのだ。

2 つの枠にプリンセス達にとっても不本意なことなのである。彼女たちは「好きな人と幸 せに
なりたい」「自分の殻を破りたい」「家族を守りたい」など様々な夢や信念を持ってい る。現
代の人々が持つものとなんら変わりのないことばかりである。「自立的な女性」が望 まれる現
代であっても「好きな人と幸せになりたい」という夢に間違っているところなどな いのであ
る。現状の問題が解決して、すべての女性の自己実現が可能な社会になれば、どち らのプリン
セスも肯定されるようになるだろう。
以上のことから今回の研究では現代のプリンセスも王子様を待っていいと結論付けられる。

今回研究のためアンケートを実施したが、神田女学園の女子中高生とアンケートの対象が 限
定されてしまった。今後アンケートを実施する際は性別を問わずより幅広い世代にアン ケートを
実施し、より正確な結論を導きたい。

また今回「現代のプリンセスはもう王子様を待ってはいけないのか」というテーマで研究 を
進める過程で、時代とプリンセス像の関係に興味が湧いた。そこで今後時代とプリンセス 像の関
係について深めたい。今回の研究では参考文献が日本語の資料に偏ってしまった。英 語の資料も
より物事を多角的に見るためにも次の研究に取り入れていきたい。

参考文献

若桑みどり（2003）『お姫様とジェンダー――アニメで学ぶ男と女のジェンダー学入門』 筑
摩書房
デヴィッド・ハンド監督『白雪姫』（1937）
ウィルフレッド・ジャクソン,ハミルトン・ラスク,クライド・ジェロニミ監督『シンデレ
ラ』（1950）
クライド・ジェロニミ監督『眠れる森の美女』（1959）
ジョン・マスカー,ロン・クレメンツ監督『リトル・マーメイド』（1989） ゲ
イリー・トルースデール,カーク・ワイズ監督『美女と野獣』（1991） ジョ
ン・マスカー,ロン・クレメンツ監督『アラジン』（1992）
マイク・ガブリエル,エリック・ゴールドバーグ監督『ポカホンタス』（1995） バ
リー・クック,トニー・バンクロフト監督『ムーラン』（1998）
ジョン・マスカー,ロン・クレメンツ監督『プリンセスと魔法のキス』（2009） ネ
イサン・グレノ,バイロン・ハワード監督『塔の上のラプンツェル』（2010）
マーク・アンドリュース,ブレンダ・チャップマン監督『メリダとおそろしの森』（2012） ジ
ョン・マスカー,ロン・クレメンツ監督『モアナと伝説の海』（2016） ドン・ホール,カルロ
ス・ロペス・エストラーダ監督『ラーヤと龍の王国』（2021） Disney.「ディズニープリンセ

ス」. ディズニー公式. https://www.disney.co.jp/fc/princess, （参照 2023-11-24）.
Disney. 「白雪姫」. ディズニー公式.
https://www.disney.co.jp/fc/princess/character/snowwhite, （参照 2023-11-24).
Disney. 「シンデレラ」. ディズニー公式.
https://www.disney.co.jp/fc/princess/character/cinderella, （参照 2023‐12-15）.
Disney. 「オーロラ姫」. ディズニー公式.
https://www.disney.co.jp/fc/princess/character/aurola, （参照 2023-12-15）. 竹内かなえ『ディズニープリンセスと多様性』（2017）
李修京，高橋理美「ディズニー映画のプリンセス物語に関する考察」（2011）, 砂田恵理加「アメリカ合衆国における取組と日本への示唆」（2010）, 大辻千恵子「世紀転換期のアメリカ女性をとりまく労働文化―‐労働の場とジェンダー」（ 1994）,
Disney. 「モアナ」. ディズニー公式.
https://www.disney.co.jp/fc/princess/character/moana, （参照 2024-01-12）. 羽田正，岸本美緒，久保文明，南川高志，小田中直樹，勝田俊輔，千葉敏之，丹波敬，小川 正樹，加藤修治，岸本次司，岡本聡（2023）『新世界史』山川出版社 ルーシー・ワーズリー 序文，ホーリー・ハールバート 監修，戸矢理衣奈 日本語監修，『 WOMAN 女性たちの世界史 大図鑑』（2019）河出書房新社
アメリカンセンターJAPAN. 「米国の歴史の概要 ‐ 戦争、繁栄、そして恐慌」.
https://americancenterjapan.com/aboutusa/translations/3488/, （参照 2024-02-07）.
「1930 年代アメリカ大恐慌のメカニズム」. 内閣府ホームページ.
https://www5.cao.go.jp/99/d/19990607zeroinfure/5.pdf, (参照 2024-02-07). 経済企画庁，（昭和 57 年 12 月 24 日），「年次世界経済報告 回復への道を求める世界経 済」. 内閣府ホームページ.
https://www5.cao.go.jp/keizai3/sekaikeizaiwp/wp-we82/wp-we82-00301.html, （参照 2024-02-07）
岡田泰男,黒川春子，「アメリカにおける女性労働：19 世紀から 20 世紀初頭」,
https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/download.php/AN00234610-19920101-0298.pdf?file_id=86801.（1992）
グリーン夫妻（1994）『魔法の仕掛け人 ウォルト・ディズニー』山口和代訳，ほるぷ出 版
「フェミニズム」, 日本国語大辞典（小学館）, ジャパンナレッジ School,
https://school.japanknowledge.com, （参照 2024-02-08）.
「ロサンゼルス暴動」，コトバンク，
https://kotobank.jp/word/%E3%83%AD%E3%82%B5%E3%83%B3%E3%82%BC%E3%83 %AB%E3%82%B9%E6%9A%B4%E5%8B%95-169402#goog_rewarded, (参照 2024-02-10).
2024 TIME USA, LLC., “April 9, 1990”, TIME,
https://time.com/vault/issue/1990-04-09/spread/30/, (参照 2024-02-10)
大場昂二（2016）「アメリカ合衆国における 1990 年代の多文化主義をめぐる議論の軌跡―‐ アーサー・M・シュレジンガー・ジュニアおよび ロナルド・タカキの議論を中心として―」,
https://serve.repo.nii.ac.jp/record/3540/files/%E5%A4%A7%E5%A0%B4%E6%98%B4%E4 %BA%8C_%E3%82%A2%E3%83%A1%E3%83%AA%E3%82%AB%E5%90%88%E8%A1%86%E5%9B%BD%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%91%E3%82%8B1990%E5%B9%B4%E4%BB%A3%E3%81%AE%E5%A4%9A%E6%96%87%E5%8C%96%E4%B8%BB%E7%BE%A9%E3%82%92%E3%82%81%E3%81%90%E3%82%8B%E8%AD%B0%E8%AB %96%E3%81%AE%E8%BB%8C%E8%B7%A1.pdf.
若松彩音「ディズニー作品に見る黒人表象」，慶応義塾大学塾生サイト
https://www.students.keio.ac.jp/hy/law/class/registration/files/a1495501281616.pdf ”ABOUT”,

BLACK LIVES MATTER, https://blacklivesmatter.com/about/, (参照 2024-02-11) Tarana Burke Founder, “History & inception”, me too., https://metoomvmt.org/get-to-know-us/history-inception/, (参照 2024-02-11)